

受動喫煙対策を訴える肺がん患者への穴見陽一衆議院議員からのヤジに対する抗議声明

平成 30 年 6 月 22 日

認定 NPO 法人キヤンサーネットジャパン

理事長 岩瀬 哲

NPO 法人キヤンサーネットジャパンはがん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信を行い、がん体験者・家族・遺族、その支援者、医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会を実現することを目指している団体です。

キヤンサーネットジャパンは、6 月 15 日（金）に受動喫煙対策が議論された衆院構成労働委員会で、受動喫煙対策を訴える肺がん患者に対してヤジを飛ばした穴見陽一衆議院議員に対して強く遺憾の意と抗議を表明するものです。

報道によると受動喫煙対策が議論された衆院構成労働委員会にて、参考人として出席された日本肺がん患者連絡会理事長で自身もステージ 4 の肺がん患者である長谷川一男さんが意見を述べられている最中に「いい加減にしろ！」とヤジが飛びました。

6 月 19 日（月）には受動喫煙被害を防ぐ健康増進法改正案が衆院を通過し、今国会で成立する見込みである。その中で、国民の健康増進を推進する法案を審議する場に、このような発言をする議員がいることは誠に遺憾であり穴見議員の厚生労働委員会委員辞任を強く要望します。

その後の、6 月 21 日（木）のフェイスブックに掲載されたお詫びにつきましても、不快な思いを与えた発言であるとの認識をされているとは到底感じる内容ではなく、失望の念を禁じえません。

発言とその後のお詫びにつきましても強く抗議し、改めて穴見議員の厚生労働委員会委員辞任を強く要望します。

また、「がん対策推進基本計画」の閣議決定を受け、国のがん対策で必要な政策が実行され、「がんになっても自分らしく生きる事のできる社会の構築」が実現されるよう、国民の健康について真摯に向き合った議論がされることを希望し、ここに強く訴えるものです。